



# 民進党

## 号外 静岡3区版

平成29年9月20日

民進党 民進プレス編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988(代表)

press@djp.or.jp

https://www.minshin.jp

# 明日の日本 生活が第一

静岡県第3区総支部版

民進党静岡県第3区総支部 総支部長 小山展弘

〒438-0078

静岡県磐田市中泉656-1

電話 0538-39-1234・FAX 0538-39-1235

e-mail : n\_koyama@aroma.ocn.ne.jp



## 衆議院議員 民進党静岡県第3区総支部長

こやま

展 弘

# 小山のぶひろ 氏にく

安倍総理は、日本経済について、これまで良いとされてきた経済指標については「アベノミクス」なるものによって結果が出たと主張してきました。しかしながら、株や為替は、世界経済や国際金融の動向が良い環境にあったことが要因で経済指標の数値がよくなつたとも考えられます。二宮尊徳風に言えば「日本の繁栄は国民の勤労にあり」というようにいかに実質賃金を増やし、いかに国民所得を増やし、日本経済の60%近くを占める個人消費を伸ばすことを考えていかなければなりません。安倍総理は金融緩和を行いましたが、資金は日銀当座預金に滞留し、マイナス金利まで導入しましたが、なかなか市中に出回りません。人口減少や高齢化の影響に加えて、産業政策とセットで行われなかつたので、日本国内の資金需要そのものが旺盛ではないのです。マイナス金利の弊害も始め、金融システムは不安定になりつつあります。マイナス金利政策を転換するとともに、貯蓄過剰の国内から海外の資金需要に応じる仕組みを、とりわけ地域金融機関を対象として設立する必要があります。信金中金や農林中金のような地銀中金の設立も一案でしょう。今後、金融検査マニユアルの改訂も検討されていますが、改定の内容によつては金融システムのさらなる不安定化も懸念されます。

二宮尊徳は、それぞれの長所や美点を活かし、伸ばし、徳に対しても徳を以つて報いる「報徳」、分限に合わせて節約を求める「分度・推譲」など、様々な言葉や農村復興の仕法を残しています。

**A** 幕末の農村復興に活躍した二宮尊徳が、自らの教えを108文字にまとめたという「報徳訓」は、「自分さえよければよい」という独りよがりを戒めています。また、「田畠の実りや山林の恵みは、人々が眞面目に働くためだ」という意味です。大日本報徳社社長の樺村純一先生は、「田畠の実りや山林の恵みは殿様や武士のおかげ」と考えるのが常識の時代に画期的な主張をしました」とおっしゃっています。翻つて現代、「会社は株主のためだけのものだ。配当を増やせ」と主張する学者や評論家がいます。「も

の言う株主」から送り込まれた経営者が、株主への配当を増やすために、リストラを行い、施設はては事業を売却し、短期的な利益をあげようとするケースすらあります。株主の役割を決して否定しませんが、「会社の利益は社員の勤労にあり」という尊徳を源流とした日本の経営を再評価すべきだと思います。

**Q** 中東遠地域には、二宮尊徳の「報徳思想」が現代も息づいています。現代の我々が二宮尊徳にどのようなところを学ぶべきでしょうか。

## 報徳立国・日本を創ろう！

**Q** 「保守」や「保守政治」についてどのような認識を持つて

**A** 「保守」にはいろいろな定義があります。ある人は伝統・文化を守ることと認識し、ある人は市場原理や競争原理を政府の介入から守ることを保守と認識します。ある与党議員は「土着の保守とイデオロギーの保守がある」と分類していましたが、この分類には私も共感します。土着の保守・現場からの保守の姿勢とは、理論理屈や主義にとらわれることなく、現場にとつて最も適合する政策を行おうとする姿勢(その際に伝統や文化といったものも考慮して生かす)であり、現行制度の良い部分も評価することではないかと思います。

**Q** どのような国会論戦を考えていますか？

それらは、財政再建や人口減少対策、マーケットの縮小などの現代日本の様々な問題に対する解決のヒントを与えていくように思っています。二宮尊徳の報徳思想を活かしつつ、一人一人が生かされ、役割と生きがいを持って生きることができる共生の社会「報徳立国・日本」を目指していきたいと思います。

# 「協同・連帯」 「共生・安心」 の社会を創ろう



## 小山のぶひろプロフィール

1975年 12月26日掛川市(旧小笠郡大須賀町)生まれ 磐田育ち  
1982年 大須賀町立横須賀幼稚園 卒園  
1988年 磐田市立磐田西小学校 卒業  
1991年 磐田市立磐田第一中学校 卒業(水泳部所属)  
1994年 静岡県立磐田高等学校 卒業(弓道部所属)  
1999年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科 卒業  
2001年 早稲田大学大学院 政治研究科 修士課程 修了(政治学修士)  
農林中央金庫(JAバンク)入庫(2006年退職)  
2006年 松下政経塾 入塾  
日本公共政策学会入会  
2007年 民主党静岡県第三区総支部長 就任  
2009年 第45回衆議院議員選挙にて初当選  
2013年 静岡理工科大学 非常勤講師(2014年まで)  
2014年 第47回衆議院議員選挙にて当選(2期目)  
現在 民進党農林水産部門会議 農政改革研究会座長  
民進党政務調査副会長  
経済・技術安全保障を考える議員連盟 事務局長  
協同組合振興研究議員連盟 事務局長  
民進党自動車議員懇話会 事務局長  
二宮尊徳思想研究議員連盟 事務局次長  
お茶振興議員連盟 事務局次長  
連合組織内議員懇談会 事務局次長  
磐田市在住  
2015年~2017年 国会質問41回  
2015年~2017年までの日本農業新聞掲載数40回  
●著書…「脱占領時代の対中政策」  
-戦後の日本は中国とどう向き合ったのか-  
●尊敬する人物…石橋湛山、二宮尊徳、石田博英、徳川家康  
●趣味…カラオケ、B級グルメ巡り、温泉巡り、弓道(式段)、水泳

## ●国民の所得向上、個人消費の増加、金融システムの安定

国民の所得が増え、「生活」が安定してこそ、GDPの約6割を占める個人消費が持ち直し、経済も成長します。税制や給付等を通じ、所得再配分政策をすすめ、国民の所得、特に働く世代、若い世代の所得が増える政策を進めます。マイナス金利政策を転換するとともに、地銀の経営安定化のため「地銀中央金庫(協同投資・運用機関)」の創設を目指し、地域金融機関の経営の安定を図ります。」

## ●軍民両用技術の流出の防止、経済・技術安全保障の確立

日本の軍民両用技術の流出が日本にとって脅威となる国々の軍事力増強に利用されています。日本の持つ高い軍民両用技術の不用意な移転を防ぐための法制度の整備を進め、他省庁にまたがる協議体(日本版CIFIUS)を創設します。

## ●社会保障制度の信頼回復

消費税の使い途は自動車取得税等の不合理な税制の撤廃に使うほかは、全額社会保障制度の維持に使い、年金、介護保険、医療保険などの社会保障制度の信頼性を高め、将来も安心して「生活」できる社会を目指します。また、国民皆保険の医療制度はいかなることがあっても堅持し、診療報酬のプラス改定を目指します。中東地域の医師・看護師を確保し、救急医療体制の確立に努めます。

介護報酬のアップなど、介護人材の確保をはかり、「介護職離職ゼロ」を目指します。介護人材の確保を図ったうえで、介護施設の充実により、介護離職ゼロを目指します。

## ●子育て支援の充実・妊活の応援

働きたいと思う女性が活躍できる社会を目指し、子育て支援を充実します。保育の質を落とすことなく、待機児童ゼロを目指します。保育士の大幅な待遇改善により保育人材を確保し、保育士不足を解消します。お子さんを生み育てやすい環境を作り、働きたいと思う女性が活躍し、「育児も仕事も」両立できる社会を目指します。不妊治療についても健康医療保険の適用とし、不妊治療に対する所得制限を緩和するなど、妊活を応援します。

## ●労働法規制の改悪に反対、安心して働く労働環境の実現

ホワイトカラー労働者の労働時間に関する規制の改悪を断固阻止とともに、違法派遣を根絶し、安心して働く環境を作ります。

## ●災害対策の推進とクリーンエネルギーの実用化

中東遠地区の津波堤防構築に向け、全力を尽くします。学校のさらなる耐震化(建替え・根本的な改修)と民間住宅への国の支援の拡充を図ります。小水力、バイオマス、風力、地熱等々のクリーンエネルギー、再生可能エネルギーの実用化・普及に努めます。

## ●農林水産業の再生・振興

日本型直接支払制度・戸別所得補償制度の維持拡充に努めるとともに、米価・茶価下落対策に努めます。「リーフでお茶を飲む習慣」の振興を図り、お茶の需要・消費拡大策を推進します。

農協法変更に伴う准組合員規制調査・員外利用規制調査にあたっては、地域の現状を踏まえた調査となるよう行政を監視するとともに、協同組合原則を踏まえ、「地域インフラとしての農協」の役割を農協法に記載し、農協がいきいきと活動できる環境を作ります。

## ●協同組合・NPOの振興と「新しい公共」の拡充

ICAの協同組合原則を踏まえ、助け合いの組織である協同組合の発展に努め「ワーカーズコープ法」「協同組合振興に関する国会決議」「協同組合憲章」等の成立に全力を尽くします。

NPOや協同組合などの「新しい公共」分野の拡充のため、税制改正をはじめとする政策を実現します。



本会議にて質問



衆院農水委員会にて「憲政史上初」お茶(冷茶)の提供を実現



川勝県知事に要望

## メールマガジン配信中!!

小山のぶひろの日本や郷土への想い、政治への熱い想い、活動報告などをメールに託してお届けいたします。

PC版 <http://www.n-koyama.com/mail> にアクセス  
n-koyama@67827.r.at-ml.jp または  
携帯版 QRコードから空メールを送信で登録

